

第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画 目標事業量（量の見込み）について（案）

令和元年5月23日

1 教育・保育事業等の量の見込み算出の概要

〔1〕量の見込み算出の基本的な考え方

「子ども・子育て支援法 第 61 条（市町村子ども・子育て支援事業計画）」では、市町村子ども・子育て支援事業計画において定める事項（量の見込み関係）が次のとおり示されている。

教育・保育提供区域ごとの各年度の

- ① 教育・保育の必要量の見込み
- ② 教育・保育の提供体制の確保の内容、実施時期
- ③ 地域子ども・子育て支援事業の事業ごとの必要量の見込み
- ④ 地域子ども・子育て支援事業の事業ごとの提供体制の確保の内容、実施時期

※教育・保育提供区域

地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域

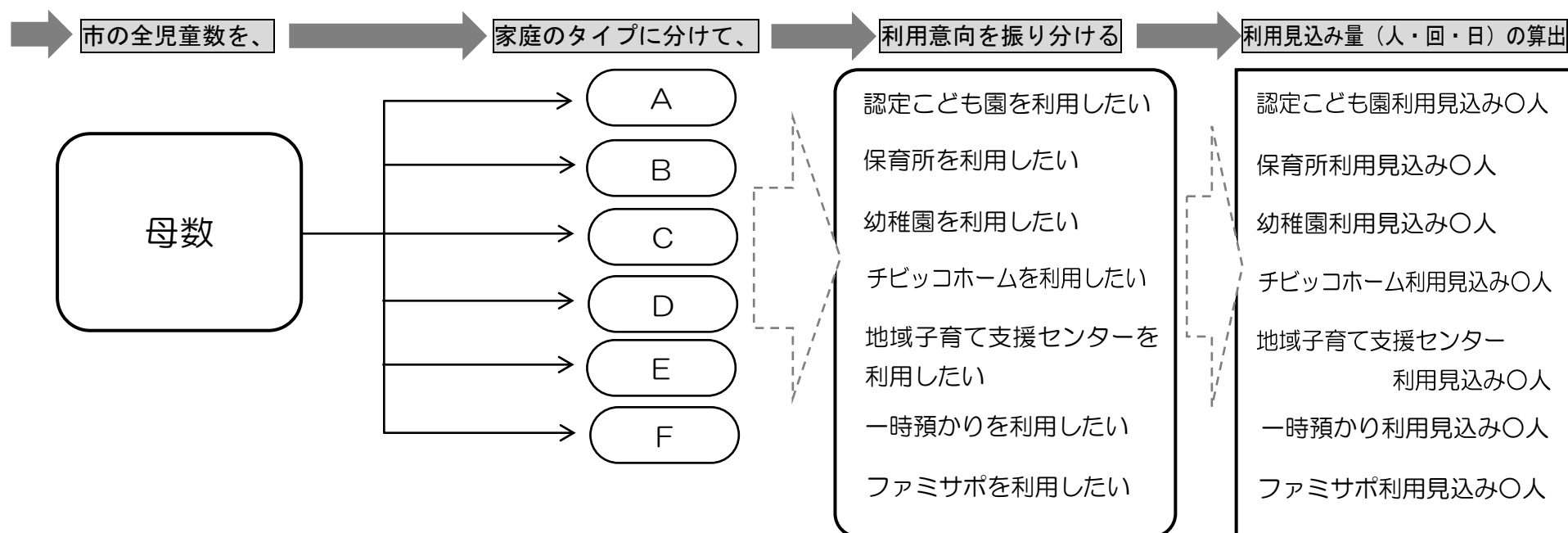
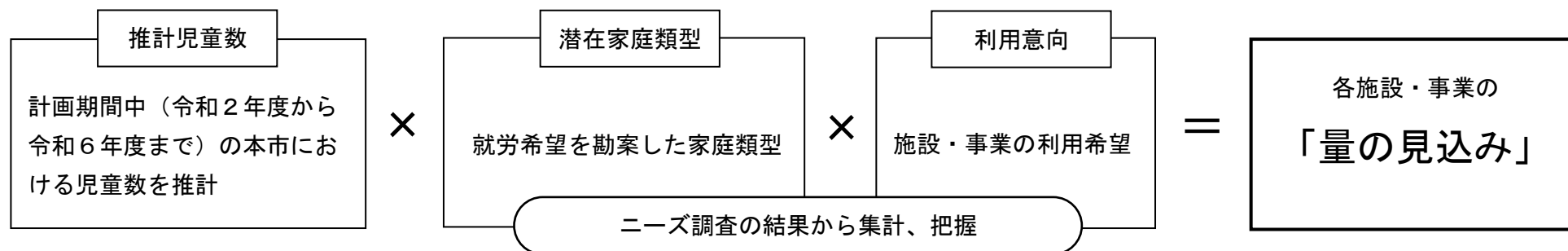
〔2〕量の見込み算出方法について

内閣府から、平成 26 年 1 月 20 日に、市町村子ども・子育て支援事業計画における量の見込みの標準的な算出方法を解説した「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」（ニーズ調査票の『必須項目』を元に具体的な量の見込みを算出するための手引き）が示されている。

大阪府では、国の手引きを踏まえ、大阪府が作成した「市町村ニーズ調査票」（モデル調査票）を使用した場合の量の見込み等の算出のための手引きを作成し、平成 26 年 2 月 13 日に示し、その後、平成 30 年 11 月に修正版を府内市町村に示している。

本資料で示す量の見込み等は、大阪府の修正版の手引きに示された手順に沿って算出したものである。

〔3〕手引きで示された量の見込み等の算出イメージ



■ニーズ調査の回答に基づく「潜在家庭類型」の分類・集計について

- ①ニーズ調査の問7（子どもとの同居者）と問11（父母の就労形態、就労日数・時間等、フルタイムへの転換意向、無職者の今後の就労希望、就労希望日数・時間等）の回答をクロス集計し、“今後の潜在的な就労希望を含む”家庭類型を作成
- ②下記8類型に分類

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム （就労時間：月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）
タイプC'	フルタイム×パートタイム （就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム （就労時間：双方が月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）
タイプE'	パートタイム×パートタイム （就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）
タイプF	無業×無業

父親		母親	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
			120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中			タイプB	タイプC	タイプC'	
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上		タイプC	タイプE		タイプD
	120時間未満 下限時間以上					
	下限時間未満		タイプC'		タイプE'	
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない				タイプD		タイプF

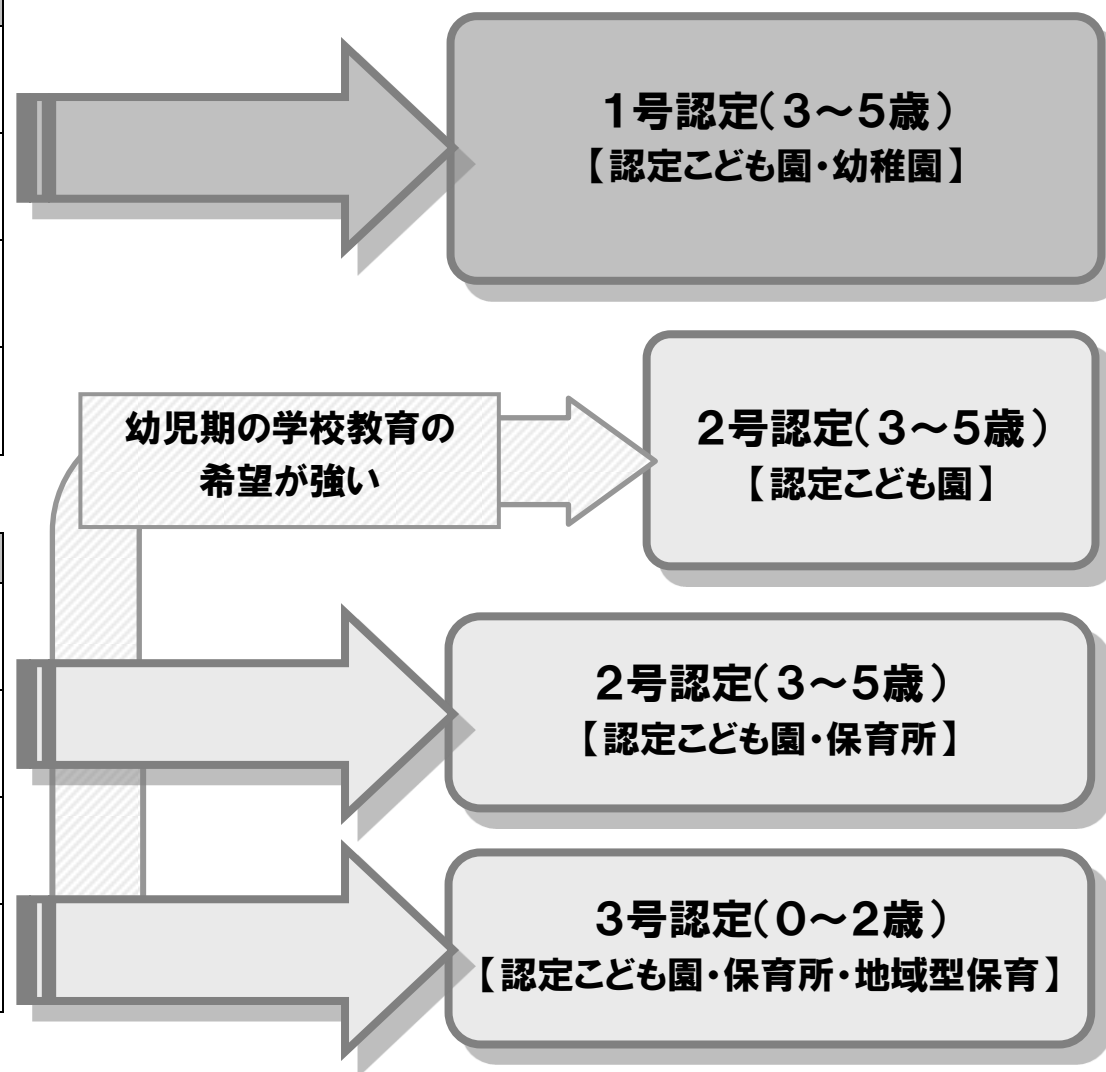
※タイプA（ひとり親家庭）は、問7（子どもとの同居者）の回答の組み合わせで集計

※下限時間＝各自治体における保育の必要性の認定の下限時間（月48～64時間の間で市町村が定める時間）本市では「64時間」と設定

■ 家庭類型と認定区分との関係

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプC'	フルタイム×パート（短）
タイプD	専業主婦（夫）家庭
タイプE'	パート×パート（いずれか短）
タイプF	無業×無業

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パート（長）
タイプE	パート×パート（双方が長）



2 推計児童数

- ◆平成 27 年から平成 31 年の各年 3 月 31 日（4 月 1 日）時点の住民基本台帳（外国人含む）の男女別 1 歳階級別人口データに基づき、コーホート変化率法により推計を行っています。
- ◆令和 2 年～令和 6 年までの児童の推計人口（市全体）は次のとおりです。

（単位：人）

		実績			推計				
		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
就学前児童	全体	9,707	9,494	9,126	8,971	8,862	8,765	8,726	8,635
	0 歳	1,453	1,505	1,364	1,531	1,499	1,466	1,436	1,412
	1 歳	1,581	1,469	1,501	1,359	1,525	1,493	1,460	1,430
	2 歳	1,603	1,556	1,466	1,500	1,359	1,524	1,492	1,459
	3 歳	1,672	1,603	1,551	1,461	1,494	1,354	1,519	1,487
	4 歳	1,693	1,664	1,589	1,542	1,452	1,485	1,345	1,510
	5 歳	1,705	1,697	1,655	1,578	1,533	1,443	1,474	1,337
就学児童	全体	10,794	10,656	10,500	10,300	9,995	9,785	9,475	9,227
	6 歳	1,740	1,706	1,680	1,637	1,562	1,518	1,427	1,458
	7 歳	1,723	1,732	1,702	1,676	1,633	1,558	1,514	1,423
	8 歳	1,861	1,719	1,728	1,697	1,671	1,628	1,554	1,511
	9 歳	1,823	1,859	1,717	1,726	1,697	1,669	1,626	1,552
	10 歳	1,815	1,824	1,856	1,715	1,724	1,695	1,666	1,624
	11 歳	1,832	1,816	1,817	1,849	1,708	1,717	1,688	1,659

（各年 3 月 31 日現在）

3 「量の見込み」を算出する項目（目次）

区分			内容	頁
教育・保育	1	1号認定	保育が必要でなく、教育ニーズがある区分（幼稚園、認定こども園）	8
	2	2号認定	保育の必要があり、保育ニーズがある区分（保育所、認定こども園）	10
	3	3号認定		15
地域子ども・子育て支援事業	1	利用者支援	子どもや保護者が、認定こども園・保育所・幼稚園での学校教育・保育や、一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、また、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応し、切れ目ない支援を行う事業	20
	2	延長保育事業	保育認定を受けた子どもについて、やむを得ない理由により、通常の利用時間以外の時間において保育を行う事業	21
	3	放課後児童クラブ（チビッコホーム）	共働き家庭など留守家庭の児童に対して、児童館や学校の余剰教室、公民館などで、放課後に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図る事業	23
	4	子育て短期支援事業（ショートステイ）	保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設などで養育・保護を行う事業	27
		子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	保護者が、平日の夜間又は休日に、仕事その他の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設などで養育・保護を行う事業	29
	5	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行う事業	30
	6-1	養育支援事業	支援が必要な家庭を訪問し、適切な養育にむけた指導や助言を行い、子育て支援を行う事業	30
	6-2	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、ネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化とネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施する事業	-
	7	地域子育て支援拠点事業	公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て親子の交流の場の提供や子育て等に関する相談等を実施する事業 ・一般型：週3日以上、かつ1日5時間以上開設 ・連携型：週3日以上、かつ1日3時間以上の開設	31
	8	一時預かり事業（幼稚園）	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業 ※一時預かり事業には、保育所型（保育所で実施）と地域密着型（地域子育て支援拠点等で実施）がある。また、一時預かり事業に類するものとして、有資格者（保育士）を1名以上配置するとともに、市町村が実施する一定の研修を修了した者を配置する類型（地域密着Ⅱ型）がある。	34
		一時預かり事業（保育所）		
	9	病児・病後児保育事業	地域の児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業、及び保育中に体調不良となった児童を保育所の医務室等において看護師等が緊急的な対応等を行う事業	43
	10	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	児童の預かり等の援助を受けることを希望する者（依頼会員）と、援助を行うことを希望する者（協力会員）との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業（相互援助活動の例：子どもの預かり、送迎など）	46

区分			内容	頁
	11	妊婦健康診査事業	妊婦に対して健康診査を行う事業（母子保健法第13条により規定）	49
	12	実費徴収に係る補足給付を行う事業	教育・保育施設等を利用する保護者の世帯の所得等の事情を勘案して、市町村が定める基準に該当する場合に、施設に支払う物品の購入費用や行事参加費用等の実費徴収に係る費用を助成する事業	—
	13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	教育・保育施設等への民間事業者の参入促進に関する調査研究・多様な事業者の能力を活用した施設の設置・運営を促進するための事業（特別支援教育に関する支援等）	—

※『地域子ども・子育て支援事業』の1・5・6・11については、ニーズ調査の結果からは見込まない事業

※『地域子ども・子育て支援事業』の6-2については量の見込みを設定しない

4 教育・保育事業の量の見込みの算出の手順と結果

- ◆国の考え方（以下「国基準」という）による量の見込み（国ワークシートによる機械的な算出）及び別案による量の見込みについて掲載しています。（数値は現時点での試算値であり、今後、国・府からの通知や子ども・子育て会議での意見等に応じて見直しを行います。）
- ◆別案は、第1期計画策定時に補正を行った事業について、今回も同様の方法や考え方を参考に調整を試みたものです。

1 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

【内容】

保育が必要でなく、教育ニーズがある区分（幼稚園、認定こども園）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	C' D E' F	対象年齢	3～5歳										
算出方法	①利用意向率												
	・問13（平日に定期的に利用したい教育・保育の事業）で「1. 公立幼稚園」から「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」または「7. 認定こども園」を選択した人の割合（ただし、「14. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」の回答者及び未回答を除いて割り戻す）												
	＜国の考え方による利用意向率＞												
	<table><thead><tr><th>家庭類型</th><th>利用意向率</th></tr></thead><tbody><tr><td>タイプC' フルタイム×パートタイム（64時間未満＋64時間～120時間の一部）</td><td>76.1%</td></tr><tr><td>タイプD 専業主婦（夫）</td><td>89.9%</td></tr><tr><td>タイプE' パート×パート（いずれかが64時間未満＋64時間～120時間の一部）</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプF 無業×無業</td><td>100.0%</td></tr></tbody></table>			家庭類型	利用意向率	タイプC' フルタイム×パートタイム（64時間未満＋64時間～120時間の一部）	76.1%	タイプD 専業主婦（夫）	89.9%	タイプE' パート×パート（いずれかが64時間未満＋64時間～120時間の一部）	0.0%	タイプF 無業×無業	100.0%
	家庭類型	利用意向率											
	タイプC' フルタイム×パートタイム（64時間未満＋64時間～120時間の一部）	76.1%											
	タイプD 専業主婦（夫）	89.9%											
タイプE' パート×パート（いずれかが64時間未満＋64時間～120時間の一部）	0.0%												
タイプF 無業×無業	100.0%												
②算出式：量の見込み（人）＝ 家庭類型別児童数（人）×利用意向率													

算出結果

<量の見込み（市全体・提供地域別）>

□ 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

(単位：人)	見込み				
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市全体	1, 835	1, 796	1, 717	1, 741	1, 739
都市中核地域	472	457	436	445	448
岸和田北部地域	301	281	264	278	278
葛城の谷地域	306	314	302	311	304
岸和田中部地域	242	228	219	199	194
久米田地域	270	268	256	254	261
牛滝の谷地域	245	247	240	253	254

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

2-1 2号認定（幼稚園の利用希望が強いと想定されるもの）

【内容】

保育よりも、教育ニーズが強い区分（認定こども園、幼稚園預かり保育）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	3 ～ 5 歳									
算出方法	①利用意向率											
	・ 問 12（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で「1. 公立幼稚園」もしくは「3. 民間幼稚園」を選択、及び											
	・ 問 12（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で「2. 公立幼稚園＋公立幼稚園の預かり保育」「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ問 13（平日に定期的に利用したい教育・保育の事業）でも「2. 公立幼稚園＋公立幼稚園の預かり保育」「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」を選択した人の割合（ただし、「14. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」の回答者及び未回答を除いて割り戻す）											
	＜国の考え方による利用意向率＞											
	<table><tr><th>家庭類型</th><th>利用意向率</th></tr><tr><td>タイプA ひとり親</td><td>14.0%</td></tr><tr><td>タイプB フルタイム×フルタイム</td><td>14.3%</td></tr><tr><td>タイプC フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)</td><td>37.9%</td></tr><tr><td>タイプE パート×パート(双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)</td><td>0.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率	タイプA ひとり親	14.0%	タイプB フルタイム×フルタイム	14.3%	タイプC フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)	37.9%	タイプE パート×パート(双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)
家庭類型	利用意向率											
タイプA ひとり親	14.0%											
タイプB フルタイム×フルタイム	14.3%											
タイプC フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)	37.9%											
タイプE パート×パート(双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部)	0.0%											
	②算出式：量の見込み(人) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向率											

算出結果

<量の見込み（市全体・提供地域別）>

□ 2号認定（幼稚園の利用希望が強いと想定されるもの）

(単位：人)	見込み				
	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市全体	484	471	450	455	453
都市中核地域	157	152	145	148	149
岸和田北部地域	91	85	80	84	84
葛城の谷地域	85	87	84	86	84
岸和田中部地域	77	73	70	64	62
久米田地域	42	42	40	40	41
牛滝の谷地域	32	32	31	33	33

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

2-2 2号認定（認定こども園及び保育所）

【内容】

保育の必要があり、保育ニーズがある区分（保育所、認定こども園）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	3 ～ 5 歳										
算出方法	①利用意向率 ・ 問 13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で「1. 幼稚園」から「13. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した人の割合（ただし、「14. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」の回答者及び未回答を除いて割り戻す） ＜国の考え方による利用意向率＞												
	<table><tr><th>家庭類型</th><th>利用意向率</th></tr><tr><td>タイプA ひとり親</td><td>64.3%</td></tr><tr><td>タイプB フルタイム×フルタイム</td><td>78.6%</td></tr><tr><td>タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>51.5%</td></tr><tr><td>タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>100.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率	タイプA ひとり親	64.3%	タイプB フルタイム×フルタイム	78.6%	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	51.5%	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	100.0%
	家庭類型	利用意向率											
	タイプA ひとり親	64.3%											
	タイプB フルタイム×フルタイム	78.6%											
	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	51.5%											
	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	100.0%											
②算出式：量の見込み（人）＝ 家庭類型別児童数（人）×（4－2②の2号認定利用意向率－4－2①の2号認定利用意向率）													

算出結果

<量の見込み（市全体・提供地域別）>

□ 2号認定（認定こども園及び保育所）

(単位：人)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	2,445	2,471	2,456	1,645	1,605	1,533	1,551	1,550
都市中核地域	456	469	456	355	344	328	335	337
岸和田北部地域	599	603	632	323	302	283	299	299
葛城の谷地域	355	343	341	244	251	241	248	243
岸和田中部地域	362	372	372	247	232	224	203	198
久米田地域	332	325	307	281	280	267	264	272
牛滝の谷地域	341	359	348	194	196	190	201	202

※実績値は、申込者数ではなく、広域含む入所児童数（各年4月1日現在）。

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

■別案

第 1 期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

□ 2 号認定（認定こども園及び保育所）の量の見込み調整方法

・ 就学前児童数に申込率※を乗じて算出

※申込率…前年度の申込率（申込者数を就学前児童数で除して算出）に平成 26 年度～30 年度の申込率の平均伸び率を乗じて算出

<量の見込み（市全体・提供地域別）＊調整後>

□ 2 号認定（認定こども園及び保育所）

(単位：人)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市全体	2,445 (2,499)	2,471 (2,506)	2,456 (-)	2,434	2,447	2,410	2,521	2,595
都市中核地域	456 (460)	469 (483)	456 (-)	482	485	480	509	530
岸和田北部地域	599 (617)	603 (612)	632 (-)	509	483	461	495	503
葛城の谷地域	355 (357)	343 (346)	341 (-)	347	366	361	381	382
岸和田中部地域	362 (373)	372 (375)	372 (-)	353	339	334	310	308
久米田地域	332 (346)	325 (328)	307 (-)	359	372	370	383	410
牛滝の谷地域	341 (346)	359 (362)	348 (-)	384	402	404	443	462

※実績値は、上段が入所児童数、下段カッコ内が申込者数（各年 4 月 1 日現在）。平成 31 年度（令和元年度）の申込者数は年度途中のため未集計。

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

3 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

【内容】

保育の必要があり、保育ニーズがある区分（保育所、認定こども園）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	0歳、1・2歳	
算出方法	①利用意向率			
	・問13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で「5. 公立保育所」から「13. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した人の割合（ただし、「14. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」の回答者及び未回答を除いて割り戻す）			
	＜国の考え方による利用意向率＞			
	家庭類型		利用意向率	
			0歳	1・2歳
	タイプA ひとり親		71.4%	84.2%
	タイプB フルタイム×フルタイム		92.0%	83.9%
	タイプC フルタイム×パートタイム（月120時間以上＋64時間～120時間の一部）		87.8%	75.0%
	タイプE パート×パート（双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部）		0.0%	0.0%
	②算出式：量の見込み（人）＝ 家庭類型別児童数（人）×利用意向率			

算出結果

<量の見込み（市全体・提供地域別）>

□ 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

(単位：人)		実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市全体		296	285	274	809	791	774	758	745
0 歳	都市中核地域	49	44	46	223	219	216	212	209
	岸和田北部地域	70	73	60	163	156	151	145	142
	葛城の谷地域	46	44	46	118	116	113	112	110
	岸和田中部地域	51	43	43	98	95	92	91	89
	久米田地域	36	28	26	121	120	118	115	113
	牛滝の谷地域	44	53	53	87	85	84	83	81
市全体		1,428	1,432	1,445	1,460	1,473	1,541	1,507	1,475
1 ・ 2 歳	都市中核地域	260	254	251	343	349	370	365	359
	岸和田北部地域	348	357	366	257	265	283	272	262
	葛城の谷地域	206	206	212	252	245	258	253	248
	岸和田中部地域	222	222	225	188	182	176	170	167
	久米田地域	166	169	164	224	233	244	241	236
	牛滝の谷地域	226	224	227	197	199	210	207	204
市全体		1,724	1,717	1,719	2,269	2,264	2,314	2,265	2,220
計	都市中核地域	309	298	297	565	568	586	576	568
	岸和田北部地域	418	430	426	421	421	434	417	403
	葛城の谷地域	250	258	369	361	371	364	358	250
	岸和田中部地域	273	265	268	285	277	267	261	256
	久米田地域	202	197	190	344	353	362	356	349
	牛滝の谷地域	270	277	280	284	284	294	290	285

※実績値は、申込者数ではなく、広域含む入所児童数（各年4月1日現在）

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

□3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み調整方法

・就学前児童数に申込率※を乗じて算出

※申込率…前年度の申込率（申込者数を就学前児童数で除して算出）に平成26年度～30年度の申込率の平均伸び率を乗じて算出

<量の見込み（市全体・提供地域別）＊調整後>

□3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

(単位：人)		実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体		296 (328)	285 (315)	274 (-)	345	350	355	361	368
0歳	都市中核地域	49 (61)	44 (56)	46 (-)	62	63	64	65	66
	岸和田北部地域	70 (76)	73 (75)	60 (-)	87	88	89	90	92
	葛城の谷地域	46 (54)	44 (51)	46 (-)	54	56	57	59	61
	岸和田中部地域	51 (54)	43 (45)	43 (-)	46	47	48	50	52
	久米田地域	36 (37)	28 (31)	26 (-)	34	33	33	32	31
	牛滝の谷地域	44 (46)	53 (57)	53 (-)	62	63	64	65	66

※実績値は、上段が入所児童数、下段カッコ内が申込者数。平成31年度（令和元年度）の申込者数は未集計。

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

<量の見込み（市全体・提供地域別）＊調整後>

□3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

(単位：人)		実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体		1,428 (1,603)	1,432 (1,626)	1,445 (-)	1,649	1,710	1,827	1,824	1,823
1・2歳	都市中核地域	260 (304)	254 (303)	251 (-)	310	328	362	371	379
	岸和田北部地域	348 (380)	357 (384)	366 (-)	390	402	430	412	397
	葛城の谷地域	206 (230)	206 (241)	212 (-)	271	278	306	315	324
	岸和田中部地域	222 (253)	222 (255)	225 (-)	230	231	231	233	236
	久米田地域	166 (196)	169 (193)	164 (-)	174	183	194	194	192
	牛滝の谷地域	226 (240)	224 (250)	227 (-)	274	288	304	299	295

※実績値は、上段が入所児童数、下段カッコ内が申込者数。平成31年度（令和元年度）の申込者数は未集計。

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

<量の見込み（市全体・提供地域別）＊調整後>

□３号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

(単位：人)		実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体		1,724 (1,931)	1,717 (1,941)	1,719 (-)	1,994	2,060	2,182	2,185	2,191
計	都市中核地域	309 (365)	298 (359)	297 (-)	372	391	426	436	445
	岸和田北部地域	418 (456)	430 (459)	426 (-)	477	490	519	502	489
	葛城の谷地域	250 (284)	258 (292)	369 (-)	325	334	363	374	385
	岸和田中部地域	273 (307)	265 (300)	268 (-)	276	278	279	283	288
	久米田地域	202 (233)	197 (224)	190 (-)	208	216	227	226	223
	牛滝の谷地域	270 (286)	277 (307)	280 (-)	336	351	368	364	361

※実績値は、上段が入所児童数、下段カッコ内が申込者数。平成31年度（令和元年度）の申込者数は未集計。

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

5 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出の手順と結果

1 利用者支援事業

【内容】

子どもや保護者が、認定こども園・保育所・幼稚園での学校教育・保育や、一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、また、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応し、切れ目ない支援を行う事業

国基準では、教育・保育施設や地域の子育て支援の事業に係る情報集約・提供、相談等を実施することから、教育・保育施設や他の地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを勘案して、本事業の量の見込みを算出することとしている。また、「子育ての総合相談窓口」の利用意向にかかる設問など、事業内容に一定程度親和性がある調査項目を設けている場合には、当該利用意向を勘案することも考えられるとしている。

<整備目標（市全体）>

(単位：箇所)	実績			整備数				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基本型・特定型		1	1	1	1	1	1	1
母子保健型			1	1	1	1	1	1

2 延長保育事業

【内容】

保育認定を受けた子どもについて、やむを得ない理由により、通常の利用時間以外の時間において保育を行う事業

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	0 ～ 5 歳										
算出方法	①利用意向率												
	・ 問 13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で「5. 公立保育所）」から「13. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択し、かつ												
	・ 問 12（定期的に利用している幼稚園や保育所などの利用の有無）で「1. 利用している」を選択し、付問の『希望する利用時間』で「18:00 以降」の時間を記入している人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）												
	＜国の考え方による利用意向率＞												
	<table><tr><th>家庭類型</th><th>利用意向率</th></tr><tr><td>タイプA ひとり親</td><td>14.7%</td></tr><tr><td>タイプB フルタイム×フルタイム</td><td>20.9%</td></tr><tr><td>タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>9.3%</td></tr><tr><td>タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率	タイプA ひとり親	14.7%	タイプB フルタイム×フルタイム	20.9%	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	9.3%	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%
	家庭類型	利用意向率											
タイプA ひとり親	14.7%												
タイプB フルタイム×フルタイム	20.9%												
タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	9.3%												
タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%												
②算出式：量の見込み（人） ＝ 家庭類型別児童数（人）×利用意向率													

算出結果	<量の見込み（市全体）>							
	（単位：人）	実績			見込み			
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	市全体	4,183	4,151	4,073	817	806	796	790

※実績値は、延長保育の実利用者ではなく、広域除く入所児童数（各年4月1日現在）

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

・公立・民間保育所38カ所で延長保育事業を行っているので、2号認定・3号認定の保育の見込み量を量の見込みとして算出

<量の見込み（市全体）*調整後>

（単位：人）	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	4,183	4,151	4,073	4,428	4,507	4,592	4,706	4,786

※実績値は、延長保育の実利用者ではなく、広域除く入所児童数（各年4月1日現在）

3 放課後児童クラブ（チビッコホーム）

【内容】

共働き家庭など留守家庭の児童に対して、児童館や学校の余裕教室、公民館などで、放課後に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図る事業

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	5 歳児																	
算出方法	①利用意向率																			
	低学年時																			
	・ 問 24（学校就学後、低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所）で、「3. 放課後児童クラブ（チビッコホーム）（公設：市が運営）」または「4. 放課後児童クラブ（民設：民間が運営）」を選択した人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）																			
	高学年時																			
	・ 問 25（学校就学後、高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所）で、「3. 放課後児童クラブ（チビッコホーム）（公設：市が運営）」または「4. 放課後児童クラブ（民設：民間が運営）」を選択した人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）																			
	＜国の考え方による利用意向率＞																			
	<table><tr><th rowspan="2">家庭類型</th><th colspan="2">利用意向率</th></tr><tr><th>低学年</th><th>高学年</th></tr><tr><td>タイプA ひとり親</td><td>75.9%</td><td>41.4%</td></tr><tr><td>タイプB フルタイム×フルタイム</td><td>83.6%</td><td>33.1%</td></tr><tr><td>タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>69.9%</td><td>30.1%</td></tr><tr><td>タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率		低学年	高学年	タイプA ひとり親	75.9%	41.4%	タイプB フルタイム×フルタイム	83.6%	33.1%	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	69.9%	30.1%	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%
	家庭類型	利用意向率																		
		低学年	高学年																	
	タイプA ひとり親	75.9%	41.4%																	
タイプB フルタイム×フルタイム	83.6%	33.1%																		
タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	69.9%	30.1%																		
タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																		
②算出式：量の見込み（人） ＝ 家庭類型別児童数（人）× 利用意向率																				

算出結果	＜量の見込み（市全体）＞							
	（単位：人）	実績			見込み			
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	市全体	1,639	1,758	1,791	2,953	2,867	2,785	2,679
	低学年	1,499	1,589	1,617	2,075	2,014	1,942	1,851
	高学年	140	169	174	877	853	843	829

※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。
※利用状況と比較すると、全体的に利用意向が大きく反映される傾向があると考ええる。

■別案

【利用意向率】

小学生アンケート調査票 問 14（これからの放課後の過ごし方）及び問 15（チビッコホームをどのように利用したいか）の回答から利用意向率を算出

問 14 で選択肢「1. 放課後児童クラブ（チビッコホーム）（公設：市が運営）」を選択した者の回答率に問 15 で選択肢「1. 1 年中利用したい」を選択した者の回答率を乗じて算出
 $18.5\% \times 75.1\%$ （59.3%に無回答 21.0%を割り戻したもの） $\div 100 = 13.9\%$ …①

チビッコホームアンケート調査票 問 10（これからの放課後の過ごし方）及び問 11（チビッコホームをどのように利用したいか）の回答から利用意向率を算出

問 10 で選択肢「1. 放課後児童クラブ（チビッコホーム）（公設：市が運営）」を選択した者の回答率に問 11 で選択肢「1. 1 年中利用したい」を選択した者の回答率を乗じて算出
 $22.2\% \times 75.1\%$ （69.8%に無回答 7.0%を割り戻したもの） $\div 100 = 16.7\%$ …②

別途、チビッコホーム利用意向の実績を用いて平成 30 年度及び 31 年度について、利用意向率を算出

平成 30 年度 $1,758 \text{ 人} \div 10,467 \text{ 人} \times 100 = 16.8\%$ …③

平成 31 年度 $1,791 \text{ 人} \div 10,308 \text{ 人} \times 100 = 17.4\%$ …④

③④いずれも①②より利用意向率が高いため、実績より量の見込みを算出

【算式】：「将来の児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

※平成 30 年度及び 31 年度の実績の平均を用いて、小学校区別・学年別に算出。また 2・3 年生については利用意向率が上昇傾向にあるため、それを加味し算出。

<量の見込み（市全体）>

（単位：人）	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	1,639	1,758	1,791	1,817	1,840	1,839	1,788	1,785
1年生	674	710	702	686	667	648	617	631
2年生	503	561	582	594	607	616	596	596
3年生	322	318	333	331	356	365	371	358
4年生	99	133	126	158	157	158	156	149
5年生	28	27	48	42	49	47	44	48
6年生	13	9	0	6	4	5	4	3

小学校区別・学年別 放課後児童健全育成事業の量の見込み

(単位:人)																																			
区 分	量の見込み(合計)					1年生					2年生					3年生					4年生					5年生					6年生				
校 名	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
中 央	39	36	31	34	32	13	9	10	13	11	12	12	9	10	13	7	5	5	4	4	6	9	6	6	4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0
城 内	105	113	114	109	112	52	55	51	47	53	45	48	52	49	47	8	10	11	13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浜	23	24	24	20	18	10	12	11	7	8	10	8	10	9	6	3	4	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝 陽	91	93	94	95	103	32	34	33	35	39	30	26	29	28	31	17	21	18	20	20	10	10	12	10	11	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0
東 光	109	116	121	117	117	41	47	43	41	41	31	35	42	38	38	22	19	22	25	23	8	9	7	8	9	7	6	7	5	6	0	0	0	0	0
旭	118	125	129	129	139	37	40	40	37	48	38	35	39	40	39	22	26	24	27	27	13	14	16	14	15	8	10	10	11	10	0	0	0	0	0
太 田	102	104	105	106	110	32	25	27	27	30	24	32	26	28	29	19	20	26	21	22	19	15	16	20	16	8	12	10	10	13	0	0	0	0	0
天神山	46	41	41	39	40	14	13	14	12	14	12	12	12	12	11	10	8	8	8	8	6	5	4	4	4	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
修 斉	39	38	38	31	30	11	12	10	7	9	11	9	11	8	6	8	10	9	10	8	5	3	4	3	4	2	3	2	2	2	2	1	2	1	1
東葛城	2	4	2	4	3	1	0	1	0	1	1	3	1	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
春 木	72	73	76	72	67	29	31	32	27	24	23	21	24	24	22	17	17	16	18	18	3	3	3	2	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
大 芝	67	62	57	52	53	31	23	20	18	24	17	22	18	16	15	11	9	12	10	8	6	7	5	7	5	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0
大 宮	114	114	113	114	116	55	44	46	48	45	36	46	38	40	44	18	19	25	21	22	5	4	4	5	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
城 北	78	79	74	63	58	27	27	22	17	20	26	22	24	19	15	17	21	18	19	15	7	8	9	7	7	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
新 条	136	143	136	127	130	46	47	38	38	45	53	50	52	42	44	28	36	34	36	29	9	10	12	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八木北	107	104	109	109	110	37	36	41	39	37	32	29	30	34	34	23	24	22	22	25	12	12	13	11	11	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
八 木	76	73	76	72	71	26	22	27	20	23	22	25	22	28	22	18	15	17	15	18	9	10	8	8	7	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0
八木南	81	82	88	94	90	35	31	34	38	28	25	28	26	29	34	12	16	19	17	19	8	6	8	9	8	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
光 明	123	122	117	115	118	40	35	32	36	35	40	47	43	39	46	25	22	27	24	22	14	15	12	14	12	4	3	3	2	3	0	0	0	0	0
常 盤	124	121	118	120	106	55	55	51	56	38	50	45	47	43	49	18	21	19	21	19	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山直北	98	104	103	95	95	36	39	35	27	34	29	30	34	31	25	16	18	18	21	19	15	14	14	14	15	2	3	2	2	2	0	0	0	0	0
城 東	44	47	50	49	49	18	20	21	18	19	17	16	18	19	17	8	9	9	10	11	1	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山直南	12	12	13	13	10	5	6	6	6	3	4	3	4	4	4	2	3	2	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山 滝	11	10	10	9	8	3	4	3	3	2	6	3	5	3	4	2	3	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合 計	1,817	1,840	1,839	1,788	1,785	686	667	648	617	631	594	607	616	596	596	331	356	365	371	358	158	157	158	156	149	42	49	47	44	48	6	4	5	4	3

4-1 子育て短期支援事業（ショートステイ）

【内容】

保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において養育・保護を行う事業（原則として7日以内）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	全家庭類型	対象年齢	0～5歳																		
算出方法	①利用意向率																				
	・問 23（泊りがけでの預け先）で「イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）																				
	＜国の考え方による利用意向率＞																				
	<table><tr><th>家庭類型</th><th>利用意向率</th></tr><tr><td>タイプA　ひとり親</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプB　フルタイム×フルタイム</td><td>0.8%</td></tr><tr><td>タイプC　フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプC’　フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>タイプD　専業主婦（夫）</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプE　パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプE’　パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプF　無業×無業</td><td>0.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率	タイプA　ひとり親	0.0%	タイプB　フルタイム×フルタイム	0.8%	タイプC　フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	タイプC’　フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.5%	タイプD　専業主婦（夫）	0.0%	タイプE　パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	タイプE’　パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	タイプF　無業×無業	0.0%
	家庭類型	利用意向率																			
	タイプA　ひとり親	0.0%																			
	タイプB　フルタイム×フルタイム	0.8%																			
	タイプC　フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%																			
	タイプC’　フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.5%																			
	タイプD　専業主婦（夫）	0.0%																			
タイプE　パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%																				
タイプE’　パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%																				
タイプF　無業×無業	0.0%																				
②利用意向泊数																					
・問 23（泊りがけでの預け先）で「イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した人の「平均泊数」																					

算出方法	＜国の考え方による利用意向泊数＞								
	家庭類型							利用意向泊数	
	タイプA	ひとり親						0.0泊	
	タイプB	フルタイム×フルタイム						8.5泊	
	タイプC	フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）						0.0泊	
	タイプC’	フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）						2.0泊	
	タイプD	専業主婦（夫）						0.0泊	
	タイプE	パート×パート（双方月 20 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）						0.0泊	
	タイプE’	パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）						0.0泊	
タイプF	無業×無業						0.0泊		
③算出式：量の見込み（人泊）＝ 家庭類型別児童数（人）×（利用意向率×利用意向泊数）									
算出結果	＜量の見込み（市全体）＞								
	（単位：人泊/年）	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
		市全体	6	7		242	237	235	235
※H31 年度（R元年度）の実績値は年度途中のため未集計。									

■別案

過去の利用実績を踏まえ、次のとおり見込む。

<量の見込み(市全体)>								
(単位：人回/年)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	6	7		87	85	83	82	80
※H31年度(R元年度)の実績値は年度途中のため未集計。								

4-2 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

【内容】

保護者が、平日の夜間又は休日に、仕事その他の理由により児童の養育が困難となった場合等に、児童養護施設などで養育・保護を行う事業

■国基準

一時的な保育事業（その他）として、一時預かり事業（幼稚園在園児対象の一時預かりを除く）等と量の見込みを一体的に算出

■別案

過去の利用実績を踏まえ、第1期計画と同様の量を見込む。

<量の見込み（市全体）>

(単位：人回/年)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	0	0		10	10	10	10	10

※H31年度（R元年度）の実績値は年度途中のため未集計。

5 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

【内容】

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行う事業

国基準では、ニーズ調査によらずに推計し、訪問を要する実人数を算出としている。

本市では、生後2か月頃の乳児がいる全ての世帯を訪問していることから、新生児数（0歳推計人口）を量の見込みとする。

<量の見込み（市全体）>

	実績			整備数				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み（人）	1,453	1,505	1,364	1,531	1,499	1,466	1,436	1,412

6-1 養育支援事業

【内容】

支援が必要な家庭を訪問し、適切な養育にむけた指導や助言を行い、子育て支援を行う事業

国基準では、ニーズ調査によらずに推計し、訪問を要する実人数を算出としている。

養育支援訪問事業は支援が必要な世帯に実施しているため、本市では、新生児数（0歳推計人口）に平成28年度・29年度の実績の0歳児人口に対する割合の平均値を乗じた値を量の見込みとする。

<量の見込み（市全体）>

	実績			整備数				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み（人）	59			61	59	58	57	56

※平成30年度・31年度（令和元年度）の実績値は未集計。

7 地域子育て支援拠点事業

【内容】

公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て親子の交流の場の提供や子育て等に関する相談等を実施する事業

- ・一般型：週 3 日以上、かつ 1 日 5 時間以上開設
- ・連携型：週 3 日以上、かつ 1 日 3 時間以上の開設

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	全家庭類型	対象年齢	0～2 歳
算出方法	①利用意向率		
	・ 問 15（地域子育て支援センターの利用状況）で、「1. 現在、利用している」または「2. 現在、利用していないが、今後は利用したい」を選択した人の人数を、回答者全体の人数（問 15 の無回答の人数を除く）で除した割合		
	＜国の考え方による利用意向率＞		
	家庭類型		利用意向率
	タイプ A	ひとり親	32.3%
	タイプ B	フルタイム×フルタイム	33.7%
	タイプ C	フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	31.8%
	タイプ C'	フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	34.1%
	タイプ D	専業主婦（夫）	52.3%
	タイプ E	パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%
	タイプ E'	パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%
	タイプ F	無業×無業	66.7%
②利用意向回数			
・ 問 15（地域子育て支援センターの利用状況）で、「1. 現在、利用している」または「2. 現在、利用していないが、今後は利用したい」を選択した人の月当たり平均利用（希望）回数			

算出方法	＜国の考え方による利用意向回数＞								
	家庭類型						利用意向回数		
	タイプA	ひとり親					12.0 回		
	タイプB	フルタイム×フルタイム					45.4 回		
	タイプC	フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)					52.9 回		
	タイプC’	フルタイム×パートタイム (64 時間未満+64 時間～120 時間の一部)					38.8 回		
	タイプD	専業主婦 (夫)					54.1 回		
	タイプE	パート×パート(双方月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)					0.0 回		
	タイプE’	パート×パート (いずれかが 64 時間未満+64 時間～120 時間の一部)					0.0 回		
	タイプF	無業×無業					126.0 回		
③算出式：量の見込み(人回) = 家庭類型別児童数(人) × (利用意向率 × 利用意向回数) × 12 か月									
算出結果	＜量の見込み（市全体）＞								
	（単位：人回/年）	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	市全体	17,354	20,905	－	87,604	87,098	89,025	87,026	85,237
※H31 年度（R元年度）の実績値は年度途中のため未集計									

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

・平成27年度～30年度の各年度の実績値を就学前児童数で除した割合のうち最も高い数値を令和2年度以降の各年度の就学前児童数に乗じて算出

<量の見込み（市全体）＊調整後>

(単位：人回/年)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	17,354	20,905	－	19,754	19,514	19,301	19,215	19,014

※実績値は、子育て支援として各公立保育所で開催している園庭開放等の利用人数を含む。H31年度（R元年度）の実績値は年度途中のため未集計。

8 一時預かり事業（幼稚園）

① 幼稚園在園児を対象とした一時預かり

【内容】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	C' D E' F	対象年齢	3～5歳																
算出方法	①利用意向率																		
	・（ア）問 13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で、「1. 公立幼稚園」から「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」または「7. 認定こども園」のいずれかを選択し、かつ問 22（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」と選択した人が、これらの問の回答者数に占める割合																		
	・（イ）問 12（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で「1. 公立幼稚園」から「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」のいずれかを選択し、かつ問 21（不定期事業の利用状況）で、「1. 一時預かり」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択した人の割合（ア・イとも未回答を除いて割り戻す）																		
	＜国の考え方による利用意向率＞																		
	<table><tr><th rowspan="2">家庭類型</th><th colspan="2">利用意向率</th></tr><tr><th>（ア）</th><th>（イ）</th></tr><tr><td>タイプC' フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>24.3%</td><td>23.8%</td></tr><tr><td>タイプD 専業主婦（夫）</td><td>45.0%</td><td>32.8%</td></tr><tr><td>タイプE' パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプF 無業×無業</td><td>100.0%</td><td>0.0%</td></tr></table>			家庭類型	利用意向率		（ア）	（イ）	タイプC' フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	24.3%	23.8%	タイプD 専業主婦（夫）	45.0%	32.8%	タイプE' パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%	タイプF 無業×無業	100.0%
家庭類型	利用意向率																		
	（ア）	（イ）																	
タイプC' フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	24.3%	23.8%																	
タイプD 専業主婦（夫）	45.0%	32.8%																	
タイプE' パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																	
タイプF 無業×無業	100.0%	0.0%																	
	②利用意向日数																		
	・問 22（不定期事業の利用意向）で、「1. 利用したい」と選択した人の「平均日数」を算出する																		

算出方法	＜国の考え方による利用意向日数＞								
	家庭類型							利用意向日数	
	タイプC’ フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）							27.9 回	
	タイプD 専業主婦（夫）							18.1 回	
	タイプE’ パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）							0.0 回	
	タイプF 無業×無業							0.0 回	
③算出式：量の見込み(人日)＝ 家庭類型別児童数(人) × (利用意向率（ア） × 利用意向率（イ） × 利用意向日数)									
算出結果	＜量の見込み（市全体）＞								
	（単位：人日/年）	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	市全体	***	***	***	5,017	4,873	4,657	4,640	4,627

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

□幼稚園在園児を対象とした一時預かりの量の見込み調整方法

①利用意向率

- ・1号認定者で、かつ問12（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で「2. 公立幼稚園＋公立幼稚園の預かり保育」または「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ問13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で「2. 公立幼稚園＋公立幼稚園の預かり保育」または「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」を選択した人の割合

②利用意向日数

- ・国基準どおり

<量の見込み（市全体）＊調整後>

(単位：人日/年)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	***	***	***	8,887	8,731	8,376	8,427	8,352

② 2号認定による利用

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	3 ～ 5 歳
算出方法	①利用意向率		
	・「1. 0」（2号認定なので、すべての人に一時預かりを利用したい意向がある）		
	＜国の考え方による利用意向率＞		
	家庭類型		利用意向率
	タイプA ひとり親	100. 0%	
	タイプB フルタイム×フルタイム	100. 0%	
	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	100. 0%	
	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	100. 0%	
	②利用意向日数		
	・ 2号認定のうち、「幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」について、問 11（1）で把握する「母親の就労日数」（＝1 週当たり日数×52 週）		
＜国の考え方による利用意向日数＞			
家庭類型		利用意向日数	
タイプA ひとり親	242. 7 日		
タイプB フルタイム×フルタイム	255. 0 日		
タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	247. 0 日		
タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0. 0 日		
③算出式：量の見込み（人日）＝ 家庭類型別児童数（人）×（利用意向率×利用意向日数）			

算出結果	<量の見込み（市全体）>							
	（単位：人日/年）	実績			見込み			
		H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	市全体	***	***	***	110,066	106,166	101,165	102,055

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

□2号認定による一時預かり利用の量の見込み調整方法

①利用意向率

- ・2号認定者で、かつ問13（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で「2. 公立幼稚園＋公立幼稚園の預かり保育」または「4. 民間幼稚園＋民間幼稚園の預かり保育」を選択した人の割合

②利用意向日数

- ・国基準どおり

<量の見込み（市全体）＊調整後>

（単位：人日/年）	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	***	***	***	39,844	38,501	36,705	37,023	36,870

③ その他の一時預かり事業

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	全家庭類型	対象年齢	0～5歳
算出方法	①利用意向率 ・問 22（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」を選択した人の割合 <国の考え方による利用意向率>		
	家庭類型		利用意向率
	タイプA	ひとり親	27.4%
	タイプB	フルタイム×フルタイム	38.6%
	タイプC	フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	43.2%
	タイプC'	フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	31.6%
	タイプD	専業主婦（夫）	47.3%
	タイプE	パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%
	タイプE'	パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%
	タイプF	無業×無業	66.7%
②利用意向日数 ・問 22（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」を選択した人の平均日数			

算出方法	<国の考え方による利用意向日数>								
	家庭類型							利用意向日数	
	タイプA	ひとり親						28.9 日	
	タイプB	フルタイム×フルタイム						21.5 日	
	タイプC	フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)						27.6 日	
	タイプC'	フルタイム×パートタイム (64 時間未満+64 時間～120 時間の一部)						33.1 日	
	タイプD	専業主婦 (夫)						19.5 日	
	タイプE	パート×パート(双方月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)						0.0 日	
	タイプE'	パート×パート (いずれかが 64 時間未満+64 時間～120 時間の一部)						0.0 日	
	タイプF	無業×無業						300.0 日	
③算出式：量の見込み(人日)＝ 家庭類型別児童数(人)×(利用意向率×利用意向日数)									
算出結果	<量の見込み(市全体)>								
	(単位：人日/年)	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
		市全体	3,869	3,553	－	82,334	81,434	80,643	80,089

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

□一時預かり事業（保育所）利用の量の見込み調整方法

平成27年度～30年度の各年度の実績値を就学前児童数で除した割合のうち最も高い数値を令和2年度以降の各年度の就学前児童数に乗じて算出

<量の見込み（市全体）＊調整後>

(単位：人日/年)	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	3,869	3,553	－	3,576	3,532	3,494	3,478	3,442

※平成31年度（令和元年度）の実績値は年度途中のため未集計。

＊ 国基準：一時預かり事業 合計（再掲）

	単位	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一時預かり事業	人日計	3,869	3,553	－	197,418	192,474	186,464	186,784	185,463
1号認定による利用	人日/年	0	0	0	5,017	4,873	4,657	4,640	4,627
2号認定による利用	人日/年	0	0	0	110,066	106,166	101,165	102,055	101,676
上記以外	人日/年	0	0	0	82,334	81,434	80,643	80,089	79,160

※実績値は、利用時に教育・保育の認定証を確認していないため、保育施設の一時的預かり利用者の合計のみ記載。平成31年度（令和元年度）の実績値は年度途中のため未集計。
 ※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

＊ 別案：一時預かり事業 合計（再掲）

	単位	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一時預かり事業	人日計	3,869	3,553	－	103,863	101,794	99,164	99,177	98,306
1号認定による利用	人日/年	0	0	0	8,887	8,731	8,376	8,427	8,352
2号認定による利用	人日/年	0	0	0	39,844	38,501	36,705	37,023	36,870
上記以外	人日/年	0	0	0	55,132	54,563	54,083	53,727	53,084

※実績値は、利用時に教育・保育の認定証を確認していないため、保育施設の一時的預かり利用者の合計のみ記載。平成31年度（令和元年度）の実績値は年度途中のため未集計。
 ※端数処理の関係で合計と内訳の計が合わない場合がある。

9 病児・病後児保育事業

【内容】

地域の児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業、及び保育中に体調不良となった児童を保育所の医務室等において看護師等が緊急的な対応等を行う事業

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	A B C E	対象年齢	0～5歳
算出方法	①病児・病後児の発生頻度		
	・問19（子どもが病気やけがで施設やサービスが利用できなかった場合の対処方法）で、「①父親が仕事を休んだ」「②母親が仕事を休んだ」を選択し、かつ問20（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答した人、及び		
	・問19（子どもが病気やけがで施設やサービスが利用できなかった場合の対処方法）で「⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」「⑦ファミリー・サポート・センターを利用した」「⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した人の合計を問19の回答者全員で除した割合		
	＜国の考え方による利用意向率＞		
	家庭類型		利用意向率
	タイプA ひとり親		23.6%
タイプB フルタイム×フルタイム		35.3%	
タイプC フルタイム×パートタイム（月120時間以上＋64時間～120時間の一部）		27.1%	
タイプE パート×パート（双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部）		0.0%	
②利用意向日数			
（ア）問20（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選択した日数の総計と、			
（イ）問19（子どもが病気やけがで施設やサービスが利用できなかった場合の対処方法）で「⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」「⑦ファミリー・サポート・センターを利用した」「⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した日数の総計を合算			
・（ア）（イ）で算出した日数を（ア）（イ）の回答者の合計（「延べ」ではなく「実人数」、「0日」は除く）で除した日数			

算出方法	＜国の考え方による利用意向日数＞								
	家庭類型						利用意向日数		
	タイプA　ひとり親						9.3 日		
	タイプB　フルタイム×フルタイム						6.5 日		
	タイプC　フルタイム×パートタイム(月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)						7.1 日		
	タイプE　パート×パート(双方月 120 時間以上+64 時間～120 時間の一部)						0.0 日		
③算出式：量の見込み(人日)＝ 家庭類型別児童数(人)×(発生頻度×利用意向日数)									
算出結果	＜量の見込み（市全体）＞								
	(単位：人日/年)	実績			見込み				
		H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	市全体	663	630	－	10,798	10,630	10,506	10,457	10,336
	※実績値は、病児対応型・病後児対応型 の事業を行う「らっこ病児保育室」「東光みやまえ病児室」「ピープル小松里病児室」の利用者実績。体調不良児対応型の事業を行う保育施設の実績を含まない。平成 31 年度（令和元年度）の実績値は年度途中のため未集計。								

■別案

第1期計画策定時の量の見込みに関する調整方法を参考に補正を実施

- ・病児保育事業の需要は、感染症の流行などに影響を受けやすいことや、保育需要との関係が強いことから保育の量の見込みの考え方などを踏まえ、平成27年度～30年度の各年度の実績値を就学前児童数で除した割合のうち最も高い数値を令和2年度以降の各年度の就学前児童数に乗じて算出

<量の見込み（市全体）>

（単位：人回/年）	実績			見込み				
	H29年度	H30年度	H31年度 （R元年度）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市全体	663	630	－	613	605	599	596	590

※実績値は、病児対応型・病後児対応型の事業を行う「らっこ病児保育室」「東光みやまえ病児室」「病児保育室ピープル小松里」の利用者実績。体調不良児対応型の事業を行う保育施設の実績を含まない。平成31年度（令和元年度）の実績値は年度途中のため未集計

10 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

【内容】

児童の預かり等の援助を受けることを希望する者（依頼会員）と、援助を行うことを希望する者（協力会員）との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業（相互援助活動の例：子どもの預かり、送迎など）

■国基準

算出対象の 潜在家庭類型	全家庭類型	対象年齢	5 歳児																													
算出方法	①利用意向率																															
	低学年時																															
	・ 問 24（学校就学後、低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所）で、「6. ファミリー・サポート・センター」を選択した人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）																															
	高学年時																															
	・ 問 25（学校就学後、高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所）で、「6. ファミリー・サポート・センター」を選択した人の割合（ただし、未回答を除いて割り戻す）																															
	＜国の考え方による利用意向率＞																															
	<table><thead><tr><th rowspan="2">家庭類型</th><th colspan="2">利用意向率</th></tr><tr><th>低学年</th><th>高学年</th></tr></thead><tbody><tr><td>タイプA ひとり親</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプB フルタイム×フルタイム</td><td>0.7%</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプC’ フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプD 専業主婦（夫）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプE’ パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>タイプF 無業×無業</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr></tbody></table>			家庭類型	利用意向率		低学年	高学年	タイプA ひとり親	0.0%	0.0%	タイプB フルタイム×フルタイム	0.7%	0.7%	タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%	タイプC’ フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%	タイプD 専業主婦（夫）	0.0%	0.0%	タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%	タイプE’ パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%	タイプF 無業×無業	0.0%	0.0%
	家庭類型	利用意向率																														
		低学年	高学年																													
	タイプA ひとり親	0.0%	0.0%																													
タイプB フルタイム×フルタイム	0.7%	0.7%																														
タイプC フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																														
タイプC’ フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																														
タイプD 専業主婦（夫）	0.0%	0.0%																														
タイプE パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																														
タイプE’ パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0.0%	0.0%																														
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0%																														
②利用意向日数																																
・ 問 24（低学年）または問 25（高学年）で、「6. ファミリー・サポート・センター」を選択した人の平均日数を算出																																

算出方法	＜国の考え方による利用意向日数＞					
	家庭類型			利用意向日数		
				低学年	高学年	
	タイプA	ひとり親	0 日	0 日		
	タイプB	フルタイム×フルタイム	1 日	1 日		
	タイプC	フルタイム×パートタイム（月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0 日	0 日		
	タイプC’	フルタイム×パートタイム（64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0 日	0 日		
	タイプD	専業主婦（夫）	0 日	0 日		
	タイプE	パート×パート（双方月 120 時間以上＋64 時間～120 時間の一部）	0 日	0 日		
	タイプE’	パート×パート（いずれかが 64 時間未満＋64 時間～120 時間の一部）	0 日	0 日		
タイプF	無業×無業	0 日	0 日			
③算出式：量の見込み（人日）＝ 家庭類型別児童数（人）×利用意向率×利用意向日数（日）						
算出結果	＜量の見込み（市全体）＞					
	（単位：人日）	見込み				
		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
	市全体	22	22	22	22	22
	低学年	11	11	11	11	11
	高学年	11	11	11	11	11

■別案

対象年齢・潜在家庭累計：国基準に同じ

- ・ファミリー・サポート・センターの延べ利用日数（≡活動件数）の推移をみると、一定の傾向はみられず、年度による変動が大きいことが分かる。

そこで、就学前、低学年、高学年のそれぞれについて、平成 26 年度～30 年度の利用延べ日数の人口に対する割合を算出し、その平均値を今後の割合と仮定して、量の見込みを算出する。

<量の見込み（市全体）>

(単位：人日)		実績					見込み					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市全体		1, 286	1, 055	1, 150	1, 395	1, 433		1, 379	1, 340	1, 310	1, 276	1, 243
就学前児童		624	465	614	884	876		637	620	605	594	579
就学児	低学年	312	364	313	286	517		361	351	339	323	316
	高学年	350	226	223	225	40		381	369	366	359	348

※H31年度（R元年度）の実績値は年度途中のため未集計。

11 妊婦健康診査事業

【内容】

妊婦に対して健康診査を行う事業（母子保健法第13条により規定）

量の見込みは0歳の推計人口に受診率を乗じて計上している。平成29年度受診率に0歳推計人口を乗じて量の見込みを算出し、妊婦健康診査受診延べ回数を一人当たり14回として延べ回数を算出。

<量の見込み（市全体）>

	実績			整備数				
	H29年度	H30年度	H31年度 (R元年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み（人）	1,589			1,670	1,635	1,599	1,567	1,540
一人当たり受診回数（回）	11.86			14	14	14	14	14
妊婦健康診査受診延べ回数（回）	18,839			23,380	22,890	22,386	21,938	21,560

※平成30年度・31年度（令和元年度）の実績値は未集計。